

2018 3.15 地域おこし協力隊 活動報告会

市文化センター小ホールで、地域おこし協力隊活動報告会が開催されました。当日は、約80人の参加者があり、協力隊の日ごろの活動について聞き入っていました。



岩崎 文香 隊員

私が地域の歴史について情報発信する理由は、歴史が好きであることと、その歴史を調査し地域の魅力として外部に発信したいと考えていたからです。ただ、歴史の情報を発信するにあたり、分かりやすい表現方法などに難しさがありました。そのような中で取材などの活動を通して、何を伝えたいのかを明確にすることと、地域の方々が知っている情報とを照らし合わせてみるのが大切であることに気付くことができました。それが分かりやすく伝えることの本質なのかもしれません。

報告会の会場後方には、協力隊員がそれぞれの活動内容を展示したブースも設けられ、私は、取材したお祭りの紹介や常陸大宮市民具展のキャプション（説明書き）展示を行いました。

この報告会を通して、皆さんに活動を知って頂くだけではなく、私自身も今まで行った活動を振り返ることができました。30年度は、地区の行事やお祭りなどを協力隊だよりやブログを通して、今まで以上に積極的に発信していきたいと思っています。



松原 枝里 隊員

長倉七夕まつり国際ワークキャンプの開催を通して、地域おこしに重要な4つのポイントに気付くことができました。「交流」を通して、皆で「目標」や感動体験を「共有」すること、そして自分の内面の変化によって自発的に地域と関わるポイントを見つける「内的動機づけ」、つまり地域のことを自分のこととして捉えることです。

また、手仕事ワークショップでは、昔から地域に伝わる手仕事を多くの人に体験してもらう事で、参加して下さった皆さんがそれぞれに地域の伝統継承について考える機会を作ることができました。

1年目はとにかく地域を知るとともに、人との繋がりを作ることに力を入れました。2年目は何ができるか動いてみて学びを得る年となりました。

30年度は、協力隊として最終年度となりますが、2年目の学びを活かし、定住に向けて任期終了後に繋がるような事業を起こしていきたいと考えています。地域の魅力である手仕事で経済が回る仕組みを作り、地域の高齢者が趣味の手仕事を誇りある仕事として取り組めるよう、また、モノづくりで生計を立てたいと考える若者や移住者のための基盤づくりをしていきたいと思っています。



間瀬 邦生 隊員

30年度は任期の3年目、最後の年となります。成果が求められる1年です。私は教育旅行業事業と干しいも加工事業の2つに取り組むことにしました。

農業研修体験に係る民泊事業では、交流人口を増やすことは重要な課題です。「単なる観光・体験」ではなく、「体験に秘められた教育要素」を掘り下げ、サービスの特徴にしていけるのが良いと考えました。そこで事業を行うための宿泊場所として市内の空き家を6月に借りる予定です。地域をあげて農家民泊に取り組んでいる常陸大宮市は、お客さまを迎える経験を積んでいるので、地域の体制も整っています。

また、加工事業も必要不可欠だと思っています。そこで「干しいも」です。言わずと知れた茨城県の特産品ですが、首都圏での認知度は低く流通量も多くありません。そのような市場の様子を見る限り、未開拓の市場が広がっていると思います。今まで活動してこられたのも、お世話になった多くの方々の支えあればこそ。今後は、農業をベースに2つの事業を進めていきます。皆さんに良い報告ができるよう精一杯活動していきますので、応援よろしくお願い致します。



志賀 瑞穂 隊員

私には報告を通して皆さんにお伝えしたいことが2つありました。1つ目は、活動は積み上げていくものということ、そして2つ目は活動を支えてくださった皆さんへの感謝です。

1年目は『地域を知る』ことをテーマに様々な市民団体の地域活動に参加し、交流を通して地域活性化のことや常陸大宮市のことを学びました。2年目には『まずは自分が生活を楽しむ』ことをモットーにお米づくりなどに挑戦しました。地域おこしには正解がなく、成果の見えにくい地道なものが多いと感じていましたが、小さな活動の積み重ねを通して、常陸大宮市に関心を持ってもらうきっかけづくりになったのではないかと思います。

2つ目は感謝です。これまでの生活との“当たり前の違い”をたびたび感じるがありました。それは、地域の皆さんとのふれあい、おすそ分けの野菜や料理の美味しさ、そして今回退任するにあたって頂いた激励の数々…。ここで挙げきれませんが、皆さんに頂いたものはすべて当たり前ではなく、尊いものということ。感謝の気持ちは日ごろから伝えてきましたが、上手く伝えきれません。そんな2年間での学びと感謝を、退任後も常陸大宮市に残ることで少しずつ伝えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



松原 功 隊員

●新協力隊メンバー紹介

常陸大宮市地域おこし協力隊として、新たに松原功^{こう}さんに委嘱状を交付しました。

松原さんの挨拶

常陸大宮市を初めて訪れた時から、自然溢れるまちであることを感じていました。その中でも、森の中にある資源を魅力的に思っています。木々や動植物を活かして地域活性化に繋げることを目標に一生懸命活動に励みます。温かい目で見守って頂けると幸いです。よろしくお願いいたします。



▲報告会の様子



▲隊員の活動発表ブース